

WM柵 + 電気柵の複合対策の場合

ワイヤメッシュ(WM)柵設置時の注意事項

1. ワイヤメッシュ(WM)の設置方向
2. WMの連結部の重ねしろを取る
動物側WMの端部の縦線と支柱(鉄筋など)を結束
3. WM用の支柱の高さ
4. 支柱にWMを留める場合の結束位置
WMと鉄筋も結束位置
5. WMの地際対策
6. WM柵を設置する位置
7. WM柵の選び方
8. 電気さく用電源装置設置の注意事項

1. ワイヤメッシュ(WM)の設置方向

ワイヤメッシュ(WM)の横線が
圃場側(内側)

ワイヤメッシュ(WM)の縦線が
動物側(外側)

**縦前
(たてまえ)
と覚える**

※野生動物が横線をかみ、引っ張った時に交点の溶接部分が外れにくいように

2. WMの連結部の重ねしろを取る

動物側WMの端部の縦線と支柱(鉄筋など)を結束させる

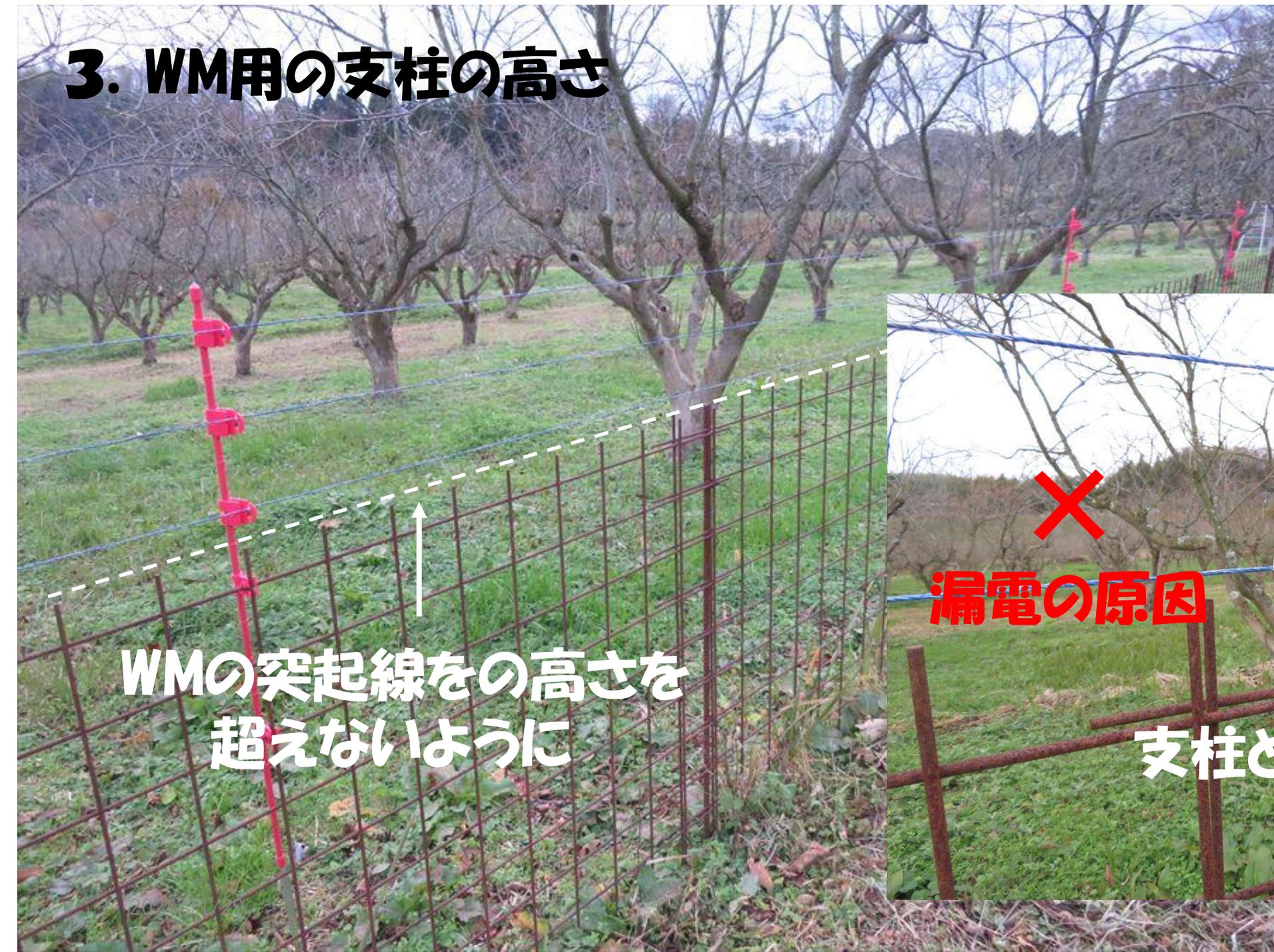


野生動物がWMをめくって
破壊、侵入しないように!

1マス分の重ねしろを取る
野生動物の破壊、侵入防止リスクの
低減のため



3. WM用の支柱の高さ

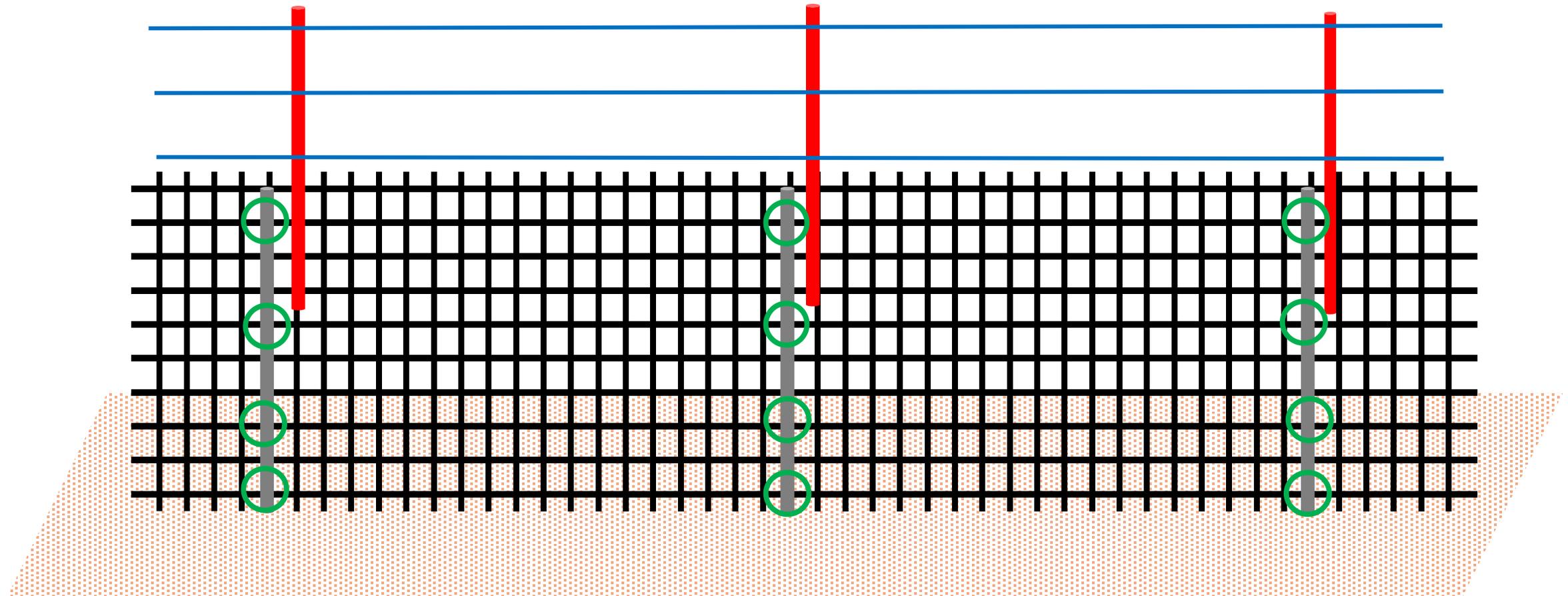


WMの突起線をの高さを
超えないように

×
漏電の原因

支柱と柵線が接触

4. 支柱にWMを留める場合の結束位置



結束ベルト(対候性タイプ)、または番線で結束

結束位置は、上中下の3カ所と中と下の間の計4カ所

5. WMの地際対策



WMの線径が細い場合(線径3.2mm)は、
直管パイプで地際補強をする

WMが隙間なく、自立するならOK



6. WM柵を設置する位置



WM柵と電気柵の複合対策をする場合、
アスファルト(コンクリート道路)脇の設置位置は要注意
・アースしづらい 電気ショックの効果が激減

7. WM柵の選び方

目合

・イノシシ シカ サル / 10cm × 10cm



・タヌキ アライグマ ハクビシン アナグマ / 7.5cm × 7.5cm

・テン イタチ / 5cm × 5cm



線径 5mmを推奨

3.2mm / 扱いやすいというメリットはあるが、強度に欠点あり。野生動物が下から無理やにくぐり抜ける可能性あり(直管パイプを用いた地際補強が必要)

8.電気さく用電源装置設置の注意事項

昼夜24時間通電スイッチON

通電していないときにイノシシやシカが電気柵に触ると電気柵を恐れなくなります

電気柵機は地面に直置きしない

長持ちさせるために台の上に置くか、打ちつけた杭に取り付けましょう

アース棒は間隔を広くとって深く打ち込みましょう

アース効果を十分発揮させるために

ソーラー式の場合は、陽の当たる場所へ設置しましょう

ソーラーパネルの向き注意

×夜だけ

×昼だけ

○24時間



ソーラータイプ

